



今年の商工祭は “丸一日、遊び尽くす日”です！

毎年多くの来場者で賑わう「商工祭 加古川楽市」。1日限定開催となる今年は10月17日(土)に加古川市役所前広場で開催されます。「凝縮された最高の一日」を目指して企画に取り組んでいる楽市実行委員会の皆さんにお話を伺いました。(イベント詳細は、10月号の挟み込みチラシもご覧ください。)

1日開催ならではの楽しみ方
—テーマは「Dive to Next」—

今年の商工祭「加古川楽市」は、これまでの2日開催から1日開催へと変更いたしました。開催時間は午後8時まで延長し、昼から夜まで丸一日楽しんでいただけるよう準備を進めています。今年のテーマは「Dive to Next」です。昨年度の原点回帰を経て、さらに一步先へ進むという思いを込めました。毎年来場いただいている

る方にも、初めて訪れる方にも楽しんでいただけるよう全力で企画を練り上げています！

新企画の体験型イベントで、
地元の魅力を知って・楽しむ

今年も商工祭としての体験型企画をご用意しています。特に注目していただきたいのが、企業紹介ボードを使った参加型イベントです。

専用アプリを使い、ランダムに指定された地元企業をボードから探し当てると、イベント専用コイン「YEGチップ」を獲得できます。楽しみながら

地元企業を知っていただける、新しい体験型の企画です。集めたチップは「任天堂Switch2」等の豪華景

品や地元特産品が当たる抽選くじに交換できます。

また、小さなお子様とご家族で楽しめる「但陽信用金庫 presents らくキッズ縁日」も初登場します。今年100周年を迎える但陽信用金庫さんにご協力いただき、釘打ちチャレンジやキノコ計測など青年部メンバーの職種にちなんだブース、さらに地元学生が考案したブースも並びます。体験するとYEGチップが増えますので、

ぜひ楽しんでみてください。

昼も夜も盛り上がるステージ
イベント&各ブース出店

ステージイベントは2部構成になり、第1部ではダンスや音楽、地元保育園の発表など、幅広い世代の皆さまに楽しんでいただけるプログラムを予定しています。第2部では、吉本芸人の吉田裕さんのお笑いライブや、ガガガSPによるスペシャルライブを予定し、1日開催だからこそ実現できた「濃密なステージ」になっています。

会場には、地元企業を中心に飲食・物販ブースが約25店、企業紹介ブースが約20店並び、かつめしや恵幸川ラーメンなど地元グルメも充実しています。子どもから大人まで、食べて飲んで楽しめる一日になると考えています。これらのブースは、加古川を支える企業の皆さまにご協力いただいたもので「こんな素晴らしい企業が地元にあるんだ」と感じてもらえれば嬉しいです。加古川市内でイベントが増える中、歴史ある商工祭を未来へつなぐために、青年部の熱い思いを込めて準備を進めております。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

加古川商工会議所青年部 楽市運営委員会
委員長 小林 賢人 さん (中央)
副委員長 岩脇 遼 さん (右)
副委員長 松崎 まつさき さん (左)